



平成19年11月9日

(社) 日本建築士事務所協会連合会
会長 三 栖 邦 博 様

(社) 新潟県建築設計事務所協会
会長 藤 田 松 夫



晩秋の候、会長様はじめ皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今年7月の新潟県中越沖地震にさいしましては、多大なご支援をいただき誠に有難うございました。衷心から厚く御礼申し上げます。

被災地では、被災者は仮設住宅等での生活を始め、倒壊家屋等の跡かたづけも終わり、一部店舗が再開するなど、少しずつ復興への光が見えてまいりました。

皆様から戴いた見舞金については、一刻も早く知事に直接面会してお渡ししたいと思ひ日程の調整をお願いしましたが、調整がつかず副知事に、10月23日に藤田会長、林副会長、中村副会長が面会し寄付をいたしました。同封の写真はその時の様子です。

面会時には中越沖地震での当協会会員の活動状況及び全国の多くの協会から見舞金の他にも人的支援の申し出であった旨を伝えると共に、建築関係団体の協力体制状況についても説明してまいりました。

副知事は三年前に発生した中越大震災とほぼ同地域に再び地震災害に見舞われ、県・市町村とも財政的にはより一層厳しい状況であるが、全国の皆様の支援に深く感謝し、復興に官民が一丸となつて取り組む決意である旨を伝えて欲しいとの事でありました。

本格的な復興事業は来春からとなりますが、当協会も復興のため懸命な努力を致しますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会が益々発展なされることを祈念し御礼と致します。

〔追伸〕

新潟県知事から、貴協会宛の感謝状を預かりましたので、同封いたしました。